

令和5年9月21日(木) 9時30分～  
鳥栖市役所 3階 第2会議室

(1) 各市町保育幼稚園担当者より医療的ケア児の状況把握について

鳥栖市：窓口では、3名の医療的ケア児対象児を確認している。病名とケアの内容を確認している。

基山町：特に上がっていない。障害福祉担当でも実際的人数などは把握していない（手帳有無で確認する為）、子ども家庭支援センターの設置をするのでこれまでより把握は可能になると考えている。

みやき：医ケアになるか不明であるが1名いる。今のところ保健センターへ相談を入れるが利用は上がってきていない。

上峰町：今まで医療的ケア児を受け入れたことがない。保育の受け入れについてどのようにしているのか知りたい。

質疑応答：保健所で抜けはないか。→今のところ把握を行っている。母より就園を希望したいとの気持ちが出てこない状況。そのような気持ちまで追いつかない。

市町へ医療的ケア児は戻ってくる時に、医療機関から保健センターには連絡が入っている状況。その時に市町で情報共有を行えば、早めに予算準備等の予測が可能となるはず。行政機関での情報共有はぜひお願いしたい。

(2) 事例検討

○就園支援対象の2事例で挙げた意見。

- ・母がどこに相談していいか分からない。
- ・保育園だと手厚く支援が行われているが、幼稚園ではまだまだ支援が足りていない。導入する訪問看護も母が探さないといけない状態である。
- ・マンパワー不足（看護師でも小児経験がない）
- ・園内看護師の補助金等の勉強会をする
- ・横のつながりを強化してほしい。

(3) 佐賀県こども未来課 医療的ケア児担当より

別紙を用意されて説明がある。別紙は非公開。